

東京形成歯科研究会

&インプラント国際情報

H.22.1.1(金) No.7

原稿募集中

東京形成歯科研究会、柳副会長の活躍

東京都歯科医師会

第170回代議員会代表質問にて

東京形成歯科研究会会員 東京都開業 柳 時悦



平成21年3月5日(木)に、第170回代議員会が行われ、そこで東京形成歯科研究会副会

長の柳時悦先生が代表質問をされました。内容は、

数日前に日本歯科医師会の役員の方と会う機会があり、先程日本歯科医師会会長からレセプトオンライン化に関して、「ちよつとどうなるかわからない状況が出てきた」とありましたが、数日前にその流れを私は別の役員の方からお聞きし、その経緯は何か日本歯科医師会で厚生労働省の役人と呼んで、この事に関する色々な質疑をする場面を設けた。そこに

自民党の議員の人に「参加してくれ」と声をかけたら、時間の流れを追って出たり入ったりしたらしいのですが、100人以上の自民党の議員の方がそこへ出てくれた。それを見て厚生労働省の役人の人が

「これはこのままちよつと通すのは無理かもしれない」という判断になったのではないかと、という流れを私は聞いています。この流れを聞いての限り、歯科医師会には歯科医師連盟があり、歯科医師会自体は政治的活動はできないので、歯科医師連盟を通して政治活動をしている。歯科医師連盟がずっと自民党一辺倒でこの政治活動をやってきたと私は理解しています。例えば今のような流れが自民党の議員が100名以上も呼びかけに応じて出てきてくれる、こういう事態がなぜ起こったのか。かつて1982年に厚生労働省の次官が医療費亡国論を述べ

て、それ以来医療界は医療費圧縮の流れの中で苦しんできた。しかし、その間も多分、医師会もそうだと思いますが、自民党一辺倒で政治工作をしてきた。それが全然公を奏さなかったように私には思えてなりません。ところがここへ来て自民党が非常に危機的状況になってきたら、初めて私たちの声に耳を傾けてくれる状況が出てきたと思います。でもこれも私が考えるには、また自民党が安定してきて政権を取れる事になったら本当に我々の声に引き続き耳を傾けてくれるのがどうか、非常に疑問だと思っています。

この歯科医師連盟は聞くところによると「自民党の支部だ」という話も聞いた事がありますが、その点はどうでしょうか。そうすると、歯科医師連盟が歯科医師会を代表するというか、歯科医師のために色々な政治的な活動をする時に自民党の支部だとしたら、その活動に足かせがあるのではないかとという疑問が1つ。

次に、歯科医師会としてのそういう政治的な私達に対する宣伝活動が今までのようなやり方でよかったのか、今後もしかしたら小沢一郎さんの問題も出ましてどうなるかわかりませんが、ある意味では政権交代もあり得ると言われている時期に今後、歯科医師会がそういった我々の理解を求める運動に対して、今後どのようにしていったらいいのか、その辺を聞く場面が違うかもしれません。宜しくお願ひ致します。

この質問に対し、田中秀夫会長は、自民党の支部という事は多分ないと思います。それは私がそんな事を言っているわけではありませんが、自民党ばかりではなく、

どうも民主党等の先生方とも歯科医師連盟の役員の人達がたまにはお付き合いしているようにも伺っていますので、自民党の支部ではないと思います。

それから先程の日本歯科医師会のレセプトオンライン化の問題ですが、100名以上の議員さんたちが来たという事は伺っています。私はその場に出席していないのでわかりません。今、選挙が近いからという事もあるかもしれませんが、やはりここ2、3年で医療が崩壊しかかっているというのが一番現実の問題ではないかと思っています。そうすると議員さんたちは医療・福祉がきちんとしないという票にひびくという事がようやく、自民党の先生方もある程度おわかりになつてきたのかなという気がします。

それからもう1つは、私は国会議員と余り面識はございません。東京都歯科医師会ではやはり東京都の議会議員さんとお付き合いが非常に多くなるわけですが、東京都歯科医師会は公益社団法人ですので、直接的な政治活動はできません。あくまでも医療政策、歯科医療の政策的な事で議員さん達とお話する事は多々あります。私は、東京都歯科医師連盟はあくまでも東京都歯科医師会を後押ししてくれてきたと思っています。そういう意味からすれば、大変感謝の気持ちでいっぱいです。

との見解を述べられました。

謹賀新年

あけまして

おめでとう

ございます。

ますますご壮健にてよ

き年をお迎えのことと

お喜び申し上げます。

昨年中は一方ならぬご

厚情を賜り、厚く御礼

いたします。

今年は、大いに努力す

る覚悟でありますので、

なにとぞご指導ご鞭撻

のほどお願いいたしま

す。

皆様のご多幸とますま

すのご健勝を心よりお

祈りいたしております。

東京形成歯科研究会

役員一同

平成二十二年元旦



コラム

世は政権交代の真只中である。既に役割を終えた自民党政権に代わり、民主党の期待が高まっている。自民党時代、私共歯科医師会にとっても長年主張してきた医療福祉政策に対して大きな改革をせずに時の歯科医師会に形成的に意見を聞くふりばかりで、政治献金ばかりを獲得してきた。今までも何故もつと強く行動を取つてこなかったかが不思議である。即ち、寄らば大樹の陰でいずればおこぼれをと……言っている間に崩壊である。振り返ると歯科医師会や連盟のつとめてきた自民党への貢献は甚大なものであったと思う。もちろん歯科医師会においては連盟と協力関係にあり、時の政策に提言をし続けてきたが、見える結果は少なかった。そればかりか政治折衝にかかわる保険点数に関しては減点ばかりでご承知の通りである。昔は力があつたと言いが当時、医師会も繁栄していた。今は医師会との格差が広がるばかりと考えると、当然自然増で黙っていてもバランスの上から増点があつたのである。それ故歯科医師会、連盟の存在と誇示できる役員はどれだけいるのでしょうか？また、学会や社会歯科学系の学者や技官は何をやつてきたのでしょうか。それこそ今は人を含めて精査されなければならぬのではないのでしょうか。

では、国民が選択した民主党を歯科医師会、歯科連盟はどうするつもりでしょう。どのような政権になつても、国民に必要とされる歯科医療ですので、スタンスを崩さないでしっかりと歯科医師会、連盟党としてマニフェストを作り主張していくべきで、民主党を一から教育していく気概を欲しいものである。いずれにしても歯科医療福祉の主権は国民と歯科医療人である。

9月21日記
奥寺 元 記

松本歯科大学歯科放射線学教室を表敬訪問 田口明教授の講演会開催される

【ビスフォスフォネート製剤の有用性と顎骨壊死の病態について学ぶ】

東京形成歯科研究会会員 銀座柳通り歯科クリニック院長 鈴木 正史



去る2009年5月16日・17日に松本歯科大学放射線学教室の表敬訪問が行われ、信州

北アルプスの自然豊かな絶景を臨む崖の湯薬師平温泉ホテルにて、東京形成歯科研究会主催の研究談話会が開催された。

16日午後、田口明教授のご厚意により、新設の大学校舎と最新のヘリカルCTやコンビームCT・MRI等の卓越した画像診断設備と解析装置の現況を見学する事ができた。普段、身近に触れる事の無い大学病院特有の最先端機器について、活発な質疑応答が行われた。

夕刻より温泉宿に移動し、奥寺会長・北村先生・田口教授を囲んで、皆で露天温泉を満喫し、アットホームな雰囲気の中、美味しい夕食に舌鼓を打った。お酒の方もかなり進んだ中、夜9時より再びスライドを交えた奥寺会長の講演は深夜まで続いた。BH（ビスフォスフォネート）の基礎的知識の整理や、インプラント患者への幾つかのガイドラインとしての指針が紹介された。その中で、血液検査や尿検査による骨代謝マーカーの比較検討の重要性について供覧しながら、その特徴についての解説が行われた。ディスカッションは白熱し、多くの質問が飛び交い、この議題についてのインプラント治療の在り方の重要性が再認識された。

翌朝17日には【骨粗鬆症治療薬としてのBH製剤の歯科における功罪】と題して田口教授の御講演が行われた。まず顎骨壊死病態の理解と対応についての確認。そしてBH製剤内服により極めて稀に顎骨壊死と骨髄炎が発症するかもしれない事実を述べられ、米国歯科医師会最新勧告等の貴重なデータ等を基に、それらに関わる未だ不明のままである歯科インプラントとの因果関係等に対して、歯科医院における骨粗鬆症スクリーニングのた

めの国際統一基準の確立の重要性を強調された。今後の歯科臨床において、骨代謝マーカーの値についてそれぞれ触れながら、インプラント早期脱落群と長期成功群の比較についての見解と結論を示された。更には、経静脈性BH製剤について顎骨壊死のリスクが高くなる傾向がある事も付け加えられた。しかしながら、BHは歯周病の改善に寄与し、歯の喪失リスクを低下する可能性がある事も示唆され、これまで抱えていた多くのリスクを軽減できる期待もあると締めくくった。これらは、田口教授が、疫学・統計学のエキスパートとして膨大なデータの中から研究分析抽出し、骨代謝学会や骨粗鬆症学会にも精通されている中での、貴重で有意義な講演の内容となった。



夜遅くまでの研修会

研修の最後には、近場で開催されている長野の蝶展へ行き、農大出身でエコリストの北村先生に蝶について専門的な解説をして頂き、蝶についても新たな知識が得られた。その後、参加者全員が教授を囲んで長野名産信州そばを食しながら、和やかな雰囲気の中、閉会となった。



8月1日・2日 横浜ベイサイドマリナー予演会報告

東京形成歯科研究会会員 長岡市開業 渡辺 泰典

8月1日、15時に王子歯科美容外科クリニック集合と言う事でしたが、最初から私が大幅に遅刻してしまい大変ご迷惑をかけてしまいました。当日は奥寺元先生、増木英郎先生、鈴木正史先生が、もう既に車に乗ってお待ちでした。早速15時45頃王子歯科美容外科クリニックを出発して、首都高連山下IC近くのタイ料理のレストラン(Tycoon (タイクーン <http://www.tycoon.co.jp>))に到着しました。そのレストランで北村先生と合流し、大いにタイ料理で盛り上がりましたが、このレストランはクルーザーが停泊できる桟橋がついているレストランで、この度も大型クルーザーが何隻か停泊していました。

また、8月1日は横浜港での花火大会もありレストランも満席、浴衣を着たお客さん等もいて、まさに横浜を満喫できる一時でした。

そのような一時を過ごしていると、奥寺先生の釣り仲間の井川さんがなんとご自分のクルーザーでレストランに横付け、井川さんも一緒にカジキマグロ釣りや大島までのクルージングの話で更に盛り上がりました。花火も終了してくると、横浜ベイサイドマリナーへ帰るための渋滞が発生しそうなので、そろそろお開きとなりましたが、増木先生と私が井川さんのクルーザーに乗せてもらい、横浜ベイサイドマリナーまでクルージング、結構三角波で揺られました。海上から見る横浜ベイブリッジや、夜景等も堪能でき素晴らしい一時でした。

ベイサイドマリナーに着くと奥寺先生の愛艇 Super Green 上りビールで乾杯。夜も更けていくと船上泊となりました。朝には奥寺先生手作りのサラダとスー



熱いディスカッション



Super Green も停泊

プにパンという breakfast をご馳走になり、ベイサイドマリナー内の研修室で、9月の大阪の学会に向けての予演会となりました。増木先生御発表の演題「根尖病巣において歯内療法で治療できない症例をインプラントで対応した症例の経過観察」と鈴木先生御発表の演題「変形性股関節症にて摘出した自家骨を上顎洞骨造成に応用しインプラント治療を行った1症例」について、一字一句、あるいは写真の細部に至るまで、北村先生、奥寺先生から懇切丁寧なご指導を頂き、PowerPoint のファイル修正を行ったりして、9月の学会では万全の体制ができたと思います。当初の予定では13時頃には解散という予定でしたが、熱いディスカッションが15時過ぎまで行われ、北村先生の「他疾患で摘出した自家骨は医療資源」と言う言葉に私は痺れました。

その後昼食となりましたが、私は他の用事のためここで失礼しましたが、このような充実した企画をしてくださった奥寺先生に感謝申し上げます。



『ケースプレゼンテーションを終えて』 東京形成歯科研究会会員 真岡市開業 豊田 寿久

先日、(社)日本口腔インプラント学会認定医の申請を終えました。(社)日本口腔インプラント学会の専門医を目指して東京形成歯科研究会入会してから3年、やっとケースプレゼンテーションまで来ました。

会場に行ってみると、若いDの方が多く、その人達と一緒に土俵に立つ事に戸惑いを覚える人もいたかもしれません。しかし、その多くは真摯な態度でインプラントに取り組んでおり、その場の緊張感心地よいものでした。空気が張りつめ、極度に乾燥し、五感全てが何倍にも敏感になったように感じた20分間でした。エ

レベーターの中で一緒にあったDrは「認定医も専門医も患者には区別できないから、認定医の称号を自院の待合室に飾って患者を集めるんだ」と言っていました。なんと淋しい臨床をやっているのでしょうか。地域に根差していれば、それだけ咬合を回復した時の患者さんの喜びはひとしおであり、患者さんから感謝された時、この仕事を選んで良かったと思った事はありませんか。先生これ食べて下さい」と、ジャガイモやトマトをもらった事はありますか。そんなやりとりの中で、日常臨床の中にインプラントを位置づけたいと思っています。その結果として専門医の称号がついてくれば良いと思っています。

今回のケースプレゼンテーション及び認定医申請にあたり、指導医の奥寺先生・小嶋先生には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

第39回 (社)日本口腔インプラント学会総会・学術大会発表

インプラント上部構造装着におけるエレクトロフォーミングの応用 — 第二報 — Application of the Electroforming on Implant Superstructure. Part 2

奥寺 元¹⁾²⁾, 渡辺 泰典¹⁾, 林 成謙¹⁾, 戸村 公紀¹⁾, 磯辺 和重¹⁾, 月居 健一²⁾, OKUDERA H¹⁾²⁾, WATANABE T¹⁾, HAYASHI A²⁾, TOMURA K¹⁾, ISOBE K¹⁾, TSUKIORI K²⁾
東京形成歯科研究会¹⁾, 王子歯科美容外科クリニック²⁾
Tokyo Plastic Dental Society (Tokyo)¹⁾, Oji Dental Clinic Aesthetic Surgery (Tokyo)²⁾

HA 応用の Custom Endosteal Implant にフッ化物溶液および PRP を併用した吸収性合成アパタイト顆粒の効果について Application of Synthetic Bio-active Resorbable HA, Fluoride Solution and PRP with Custom Endosteal Implant

奥寺 俊允¹⁾²⁾, 辻 浩洋¹⁾, 浦口 昌秀¹⁾, 田 昌守¹⁾, 木本 一成¹⁾²⁾, William D Nordquist¹⁾, 奥寺 元¹⁾²⁾, OKUDERA T¹⁾²⁾, TSUJI H¹⁾, URAGUCHI M¹⁾, DEN M¹⁾, KIMOTO K¹⁾²⁾, William D Nordquist¹⁾, OKUDERA H¹⁾²⁾
東京形成歯科研究会¹⁾, 王子歯科美容外科クリニック²⁾ 神奈川歯科大学健康科学講座口腔保健学分野²⁾, Implant Dentistry of San Diego¹⁾
Tokyo Plastic Dental Society (Tokyo)¹⁾, Oji Dental Clinic Aesthetic Surgery (Tokyo)²⁾, Division of Oral Health Kanagawa Dental College (Kanagawa)³⁾, Implant Dentistry of San Diego (USA)⁴⁾

根尖病巣において歯内療法で治療できない症例をインプラントで対応した症例の経過観察 Follow-up Observation of the Dental Implant Case which had an Unfavorable Apical Lesion of the Tooth for Endodontic Treatment : Report of a Case

増木 英郎¹⁾, 鈴木 富士雄¹⁾, 柳 時悦¹⁾, 島村 勇斗¹⁾, 龍野 晋次²⁾, 奥寺 元¹⁾²⁾, 河奈 裕正³⁾, MASUKI H¹⁾, SUZUKI F¹⁾, RYU J²⁾, TORIMURA H¹⁾, RYUNO S²⁾, OKUDERA H¹⁾²⁾, KAWANA H³⁾
東京形成歯科研究会¹⁾, 王子歯科美容外科クリニック²⁾, 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科³⁾
Tokyo Plastic Dental Society (Tokyo)¹⁾, Oji Dental Clinic Aesthetic Surgery (Tokyo)²⁾, Oral and Maxillofacial Surgery, Keio University (Tokyo)³⁾

ケースプレゼンテーション合格者:

相澤 八大 先生・秦 和義 先生・川崎 智之 先生
増木 英郎 先生・豊田 寿久 先生・辻野 哲弘 先生
田 昌守 先生

ハンドメイドの仮骨延長器を埋入位置不良インプラントに応用して審美的改善を試みた一症例 A Case of the Hand-made Device of Distraction Osteogenesis used for Esthetical Improvement of Malformed Dental Implant Prosthesis.

北村 豊¹⁾, 辻野 哲弘¹⁾, 新井 真澄¹⁾, 木下 三博¹⁾, 浅野 豊年²⁾, 奥寺 元¹⁾²⁾, KITAMURA Y¹⁾, TSUJINO T¹⁾, ARAI M¹⁾, KINOSHITA M¹⁾, ASANO T²⁾, OKUDERA H¹⁾²⁾
東京形成歯科研究会¹⁾, 王子歯科美容外科クリニック²⁾
Tokyo Plastic Dental Society (Tokyo)¹⁾, Oji Dental Clinic Aesthetic Surgery (Tokyo)²⁾

変形性股関節症にて摘出した自家骨を上顎洞骨造成に応用しインプラント治療を行った 1 症例 An application of resected autogenous bone due to coxarthrosis to maxillary sinus augmentation for dental implants treatment.

鈴木 正史¹⁾, 増木 英郎¹⁾, 松田 慎一郎¹⁾, 豊田 寿久¹⁾, 奥寺 俊允¹⁾²⁾, 奥寺 元¹⁾²⁾, SUZUKI M¹⁾, MASUKI H¹⁾, MATSUDA S²⁾, TOYODA T¹⁾, OKUDERA T²⁾, OKUDERA H¹⁾²⁾
東京形成歯科研究会¹⁾, 王子歯科美容外科クリニック²⁾
Tokyo Plastic Dental Society (Tokyo)¹⁾, Oji Dental Clinic Aesthetic Surgery (Tokyo)²⁾

第29回 (社)日本口腔インプラント学会関東甲信越支部総会発表 Uレディスカッション: 指定研修施設のインプラント教育への取り組み

インプラント周囲炎と骨質規定マーカーとの関係 (その 4) Relationship between peri-implantitis and biochemical markers of bone quality.

奥寺 俊允¹⁾²⁾, 相澤 八大¹⁾, 増木 英郎¹⁾, 鯨岡 昌寿¹⁾, 田中 かずさ¹⁾²⁾, 奥寺 元¹⁾²⁾, 田口 明³⁾
東京形成歯科研究会¹⁾, 王子歯科美容外科クリニック²⁾, 松本歯科大学歯科放射線学講座³⁾
Tokyo Plastic Dental Society¹⁾, Oji Dental Clinic Aesthetic Surgery²⁾, Department of Oral and Maxillofacial Radiology Matsumoto Dental University³⁾

ビスフォスフォネート服用患者におけるインプラントと骨質規定マーカーとの関係 (その 5) Relationship between implant placement and biochemical markers of bone quality in patients with oral bisphosphonate use.

奥寺 元¹⁾²⁾, 渡辺 泰典¹⁾, 桜井 誠¹⁾, 鈴木 正史¹⁾, 田口 明³⁾
東京形成歯科研究会¹⁾, 王子歯科美容外科クリニック¹⁾²⁾, 松本歯科大学歯科放射線学講座³⁾
Tokyo Plastic Dental Society¹⁾, Oji Dental Clinic Aesthetic Surgery²⁾, Department of Oral and Maxillofacial Radiology Matsumoto Dental University³⁾

日時: 平成 21 年 8 月 22 日(土)・23 日(日)
会場: 東京国際フォーラム
主幹: (社)日本口腔インプラント学会関東甲信越支部
趣旨:

学会の法人化とそれに伴う認証医、専門医・指導医制度の導入は、日本口腔インプラント学会の歯科界における立場を確固たるものにしてきたと考えられます。周知の通り、これら制度の導入の目的の一つに安全で良質なインプラント治療を患者諸氏に提供する事が含まれる事は論を待ちません。優れたインプラント認証医、専門医の育成には学会指定研修施設、特に臨床系の研修施設が多様な貢献をされてきた事は明白であります。今回、関東甲信越支部総会という機会に、関東甲信越支部に属する臨床系の指定研修施設のそれぞれの先生方にご登壇頂いて、各研修施設の特徴とインプラント専門医育成への取り組み、また地域歯科インプラント医療への貢献等についてご講演頂き、相互に取り組み方法を共有できる機会に致したいと思います。上記に基づき東京形成歯科研究会として下記の内容で実施します。

東京形成歯科研究会としての研究及び教育の取り組み

研究・教育テーマ: 「顎の保存と再生の道」 — インプラントによる機能回復・形態回復・生理的機能回復の意義 —

座長: 施設長 奥寺 元

テーマ: 顎骨保全としての診断

1. GBR 予後判定の GBR 角度皮質骨形体

演者: 木下 三博 先生 7 分

2. 骨代謝マーカー診断による顎骨とインプラント保全の診断

演者: 田中かずさ 先生 7 分

テーマ: 顎再生の素材

1. PRP と各種骨補充材の効果 顎骨再生の足場素材としての HA チタンフレーム

演者: 奥寺 俊允 先生 7 分

2. フッ素応用における骨補充への影響

演者: 木本 一成 先生 7 分

3. 顎骨の再生が形態保全とアンチエイジングに及ぼす影響

演者: 古谷田泰夫 先生 7 分

質疑応答 10 分

『全国講演会札幌大会を受講して』

東京形成歯科研究会会員 旭川市勤務 三宅 高弘



去る11月1日(日) 北の大地北海道札幌にて、東京形成歯科研究会会長奥寺 元先生による

講演終了後はモデレーターを務めた増木 英郎先生と一緒に奥寺先生を次の会場までの出発地となるフェリーターミナルまで送り、どこまでも夢を追いつけるまだ見ぬマリーリンハンター。海の男の一面もすっかりと目に焼き付ける事ができました。

受講した衛生士さん達に囲まれて



モデレーター増木先生 座長 半田先生と共に



『口腔美容外科学の理論と実際に参加して』

神奈川歯科大学付属病院 顎再建インプラント外科 太田 順子

来る12月6日(日)、神奈川歯科大学横浜研修センター7F大会議室にて、フェイスクントロールと口腔ケアについて、解剖学的、臨床的に説明頂きとても有意義なセミナーでした。

歯を喪失した方の骨吸収および顔貌の状態について、X線や顔貌の画像を用いて詳細に御説明頂きました。歯を喪失した患者様の治療は口腔機能の問題だけではなく、顔貌が深くかわること、コラーゲンやヒアルロン酸の注入は一時的な効果であること、多数歯欠損や無歯顎の患者様の顔貌改善にはインプラント治療が必要不可欠であることを再認識させられました。

顎骨の再生にはPRP(多血小板血漿)

が有効との御発表も注目し値するものでした。奥寺先生御自身の肩の皮膚を用いての、軟組織(皮膚)でのPRP効果の提示も興味深いものでした。

再生医学を含む外科処置の研究発表にとどまらず、リンパマッサージや表情筋を利用したトレーニングの実演講習、自己鍛錬で筋肉がつくことを証明するボディビルダーの登場と、基礎研究医、口腔外科医、開業歯科医、他職種の参加者全てが啓発される有意義なセミナーでした。

終わりに、有意義なセミナーを開催してくださった奥寺先生および、座長の先生方に感謝申し上げます。

『青森八戸地区講演会を聞いて』

黒田歯科医院 黒田 政道

昨今、歯科業界は非常に過密化し、さらにはドクター同士でいがみ合う状態にまで悪化してきました。近代医学はここ100年で目まぐるしく進歩をあげてきましたが、やっている手法は今も昔も殆ど変わらないそんな気がします。先人が行っていた行為の方が患者さんに喜ばれ慕われていた。むしろ素晴らしい時代と思います。

今回、奥寺先生のセミナーに参加させて頂き、先生が今までされていた経緯を短い時間ではありましたが垣間見えた気が致します。今は歯頸ラインやら平行にインプラントが入っていないけれどもという時代ですが、私にはこの行為自体ドクターの驕りに感じてなりません。本来あるべき行為は機能(ファンクション)だと思っています。その後に審美などがあると思います。それらを駆使したインプラント学、特に奥寺先生のサブペリは本当に感動しました。また、この様な時代だからこそパラメディカルが色々駆使し、リンパマッサージや筋肉トレーニング、さらには微小循環という分野にも幅広い知識と行動力が必要であることを教えて頂きました。是非歯科の先生方、他分野の先生方、エステシャン等参加して頂ければ…。

先生の御話を聞き、これからの歯科業界はまだまだ明らと感じます。



2010年度 東京形成歯科学研究会 社団法人日本口腔インプラント学会 認定講習会

～ 多彩な講師陣と施設指導医による親身な指導 ～
主催：社団法人日本口腔インプラント学会認定施設 東京形成歯科学研究会会長：奥寺 元



＜ 講義と実習内容 ＞

認定講習会は経験豊富な講師陣を配置し、最先端の講義・実習は当然の事、日常の臨床にアドバイスを随時行っており、研修のみではなく日々の開業にプラスになるように指導し、合わせて研究や学会発表にも積極的に付帯的な影響を与えています。インプラント臨床パブルが弾けても、真の実力で生き延びるコースです。2009年度も東京形成歯科学研究会のインプラント学会発表は、大学や他研究施設には追従を許しておりません。それもすべて画期的研究と自負しております。歯科学に情熱を持つ若き医学徒の参加を求めます。

施設所属指導医：小嶋 榮一・奥寺 元・藤田 欣也・古澤 利武 基礎系指導医：木本 一成



【開催場所】

王子歯科美容外科クリニック研修室

【定員】

20名

【参加費】

65万円 ＜分割可＞

【予定講師】

小嶋 榮一 (社)日本口腔インプラント学会指導医	河 奈 裕 正 慶応義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室診療副部長
斉藤 毅 (社)日本口腔インプラント学会指導医	山 田 了 東京歯科大学歯科保存学第二講座教授
瀬戸 皖一 (社)日本口腔インプラント学会指導医	矢 島 安 朝 東京歯科大学口腔インプラント学講座教授
香月 武 (社)日本口腔インプラント学会指導医	石 井 信 之 神奈川歯科大学歯科修復学分野教授
大村 桂 (社)日本口腔インプラント学会指導医	松 尾 雅 斗 神奈川歯科大学口腔解剖学分野准教授
白川 正 順 (社)日本口腔インプラント学会指導医	斉 藤 正 寛 東京理科大学基礎工学部生物工学科准教授
新井 高 (社)日本口腔インプラント学会指導医	藤 田 欣 也 (社)日本口腔インプラント学会指導医
榎本 紘 昭 (社)日本口腔インプラント学会指導医	奥 寺 元 (社)日本口腔インプラント学会指導医
古澤 利 武 (社)日本口腔インプラント学会指導医	その他著名教授及び臨床医
井 汲 憲 治 (社)日本口腔インプラント学会指導医	

2010年度			2011年度		
1. 4月18日(日)	4. 7月25日(日)	7. 10月24日(日)	10. 1月23日(日)	11. 2月20日(日)	12. 3月27日(日)
2. 5月23日(日)	5. 8月29日(日)	8. 11月28日(日)			
3. 6月20日(日)	6. 9月26日(日)	9. 12月26日(日)			

【東京形成歯科学研究会認定講習会事務局】認定施設 王子歯科美容外科クリニック内 担当：佐野 奥寺
〒114-0002 東京都北区王子2-26-2-3F TEL:03-3919-5111 FAX:03-3919-5114
E-mail:okudera@carrot.ocn.ne.jp 【URL】http://www.tpdimplant.com/

2010年度 認定講習会 申し込み書

お名前	所 属	紹介者
〒		TEL
住 所		FAX

先進歯科医療 海外研修ツアー

医療理念を同じくする海外講演者とのコラボレーション



医学博士 奥寺 元

Dr.奥寺 元 (社)日本口腔インプラント学会認定施設
東京形成歯科学研究会施設長

それぞれ其の立場の世界的権威者です。絶対見逃せないトピックスです。ともに医療人としての絆を深めるイベントが含まれています。

お祭り騒ぎの巨大ミーティングの時代は終わり、今は細部における専門分野を追求する時代です。

2010年 2月5日～8日
台湾 台北



Dr.蘇正堯

Dr.蘇正堯 (National YangMing大学)
Dr. Sebastian Tseng

「PRP・PPP・PRF応用の再生学と臨床の実際」「口腔美容外科の実際」
(身近に再生先端技術をすでに台湾では一般化しており、血液学の権威が主催して、一般開業医に再生素材を提供しております。)

※WHO血液学コンサルタント Thierry Burnouf教授ら有名血液学講師が集結します。
「PRP・PPP・PRF等組織再生にからむ臨床発表を募集します。」



Dr. Sebastian Tseng

2010年4月22日(木)～27日(火)
米国 マイアミ



Dr. A Garg



Dr. R Marx

SymposiumとLive

会場：The W Hotel South Beach Phone:305 938 3000
2201 Collins Avenue Miami Beach, Florida 33139

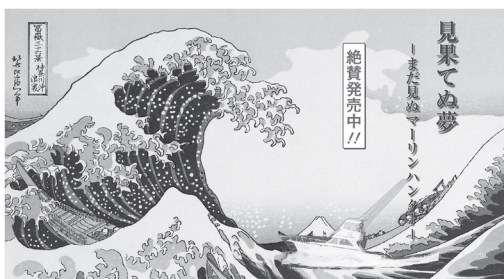
※詳しくは下記問い合わせ先までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ	〒114-0002 北区王子2-26-2-3F 王子歯科美容外科クリニック内 東京形成歯科学研究会 TEL.03-3919-5111 FAX.03-3919-5114	
名前	TEL	FAX
住所 〒		

各界の著名人が絶賛推薦する、ドン・キホーテ奥寺氏の書き下ろしエッセイ

「見果てぬ夢」

永年夢を追いつけるまだ見ぬマーリンハンター



医学博士 奥寺 元
王子歯科美容外科クリニック総院長

このようなグローバルで積極的な活動は、日本の若い医学徒や一般若者にとって大変必要な精神と思われ、日本の持つ科学技術を世界により発信するためにも大いに参考となるエッセイである。

前日本歯科医学学会会長 斉藤 毅



歯科医でありながら、政治に果敢に挑戦した。勇気ある地域思いの赤ひげである。今なお通じる政治の土壌を痛烈に回顧しており、まさに若者への才智あふれる郷土として、社会や政治に夢を与える奥寺ドン・キホーテに乾杯。

俳優 宝田 明



奥寺先輩とは高校生の時友好を深めた仲です。先輩は帝京の創生期の熱血生徒会長で、特に体育文化の課外活動は傾注して個人の能力を引き出す、クラブ活動の発展に当たり、帝京高校の文化および体育の伝統的な活躍の礎を作り上げた人と言っても過言ではありません。

作曲家 弦 哲也



同じ釣り人として、釣りに対する想いは大いに共感出来るし、釣りをしない方も一人の人間としてダイナミックに生き続ける奥寺さんに拍手したくなる内容です。30年間カジキを追いつけて一本も釣れない有名なマーリンハンターですが、奥寺さんの見果てぬ夢は何時の日か必ず正夢になることでしょう。

釣名人 服部善郎



推薦文

自然エコロジーとともに見果てぬ夢を追い、社会と医療界に夢と希望を提言する奥寺の人間模様。

- 若い政治家、医学徒必見
- 保守的で夢を与えられない社会に提言
- グローバルな時代に世界感を持つ精神とは
- 物おじしない行動力
- ガジガジの緻密さよりほどほどの精神とは
- Don't worry 何とかなる精神で

第1章 回顧	見果てぬ夢の政治への思い、選挙への挑戦
第2章 見果てぬ夢の近代米国文化が直輸入された青森県三沢で自然児としての生活環境	
第3章 東京へ移住	柔道 学生運動
第4章 自然豊かな三浦半島で歯科医学の頂点を目指した見果てぬ夢	
第5章 南海の孤島・御蔵島での無医歯科診療団見果てぬ夢のマーリンとの出会い	
第6章 留学先のオレゴンで世界観の文化と釣りに出会う	
第7章 見果てぬ夢アーバンリゾート構想 東京都北区でのポートライフ 河川解放運動と隅田川環境保全活動	
第8章 インプラント国際学会での頂点を極め、先に見果てぬ夢を実現	
第9章 マイポート・スーパーグリーンからみた雄大な大海原のマーリンライフ	

お問い合わせ

〒114-0002 東京都北区王子2-26-2-3F オクデラメディカル TEL. 03-3919-5111 FAX. 03-3919-5114

出版会社：株式会社UNIBOOK

奥寺会長いよいよ文壇にデビューか？

来る12月4日、ホテルオークラにて財団法人日本文学振興会主催、菊池寛賞のパーティーに招待された。当の本人は文書力がないものが文壇にデビューできるはずがないと否定している。何故、このパーティーに呼ばれたかと首をかしげている。もしかして「見果てぬ夢」がUNIBOOKでインターネットに配信されたのが目にとまったのか定かではないと言う。

事務局



文壇デビュー？

この度、奥寺会長は各方面から推荐されて、顎顔面インプラント学会に幅広い医学的見地に寄与する事を求められ、また後進の指導目的のために経歴をかわれ、諸般の手続きを得て無事指導医となりました。開業医は6名であつた。今後、その方面での活躍を期待し、それに続くべき会員の奮闘を一層期待されます。

事務局

奥寺会長顎顔面インプラント学会の指導医となる

